

0023-05

会場：303

時間：5月23日 14:55-15:15

秩父盆地。多様な地質に寄り添う固有の風土

吉田健一

秩父まるごとジオパーク推進協議会

【地質・地形に育まれた風土】秩父は古い地質の山に囲まれた盆地。段丘面は水不足で水田に適さず桑を植え蚕・絹を生産し「秩父銘仙」を生み、段丘崖の湧水は銘酒となりました。岩畳や札所には古くから人が訪れ、峠を越えてきた文化は、秩父夜祭・歌舞伎・人形浄瑠璃等となって今に伝わっています。盆地という地形が独特の風土を醸成してきました。

【地質学発祥の地とその変遷を学べるジオパーク】和銅の発見や平賀源内の来訪等、古い地質記録の残る秩父。日本の近代地質学もこの地を最初のフィールドに選び「秩父古生層」の名は全国で使われました。三波川帯・秩父帯・四万十帯・山中地溝帯を基盤に新第三系・第四系が重なり、堆積岩・火成岩・変成岩、不整合・スランプ褶曲・断層等の地質構造、サンゴ・フズリナ・アンモナイト・放射虫・海生哺乳類・軟体動物等の化石が存在、秩父には地質学の多様な要素が揃っています。近年、中生代の放射虫化石等により秩父古生層はジュラ紀付加体とされ、地質学の変遷を学ぶ地ともなりました。

「長瀨の変成岩」「ようばけ」は、日本列島ジオサイト地質百選に選定されたお勧めサイトです。

【「めざせ ジオパーク秩父」を合言葉に】推進協議会を設立して一年、HPでの情報発信、専門職員配置、自治体・博物館・NPO・JC等での講演、先進ジオパーク視察、普及啓発チラシ全戸配布、パンフ・ポスター作り、看板の設置、ロゴマーク選定・学校教育活動支援、ジオツアー等が積極的に取り組まれました。従来のお客様受け入れシステムに「ジオ味をつける」工夫を加えています。「一味違った札所巡り」では毎回約110名以上の参加を得ました。札所の先達・秩父学検定合格者（秩父商工会議所）も交え互いに勉強しあうガイド養成、石灰岩の湧水「毘沙門水」やメープルシロップを使った新商品、ジオバイクツアー、各自治体ではジオサイト周辺の整備を始めています。

【自然資源から癒しへ】今、秩父では大地の遺産が大人気です。丘陵の芝桜・棚田の花菖蒲・谷筋の氷柱や紅葉等に多くの人々が訪れ、楽しんでいただいています。ローム層・生糸を語る建物・鉾山の遺跡にも光をあて活用していきたい。ジオパーク構想は秩父にとって順風、日本ジオパークへの認定申請を行い、この動きにさらに弾みをつけていきたい。